

(2023年3月4日付しんぶん赤旗)

街路樹伐採必要あるか

大阪・長岡市議

日本共産党の長岡ゆりこ大阪市議は2月17日の市議会建設港湾委



質問する長岡議員

2月17日、大阪市議会

(質疑提出資料)

本、合計1万9000本を伐採予定。その理由を「安全対策」だと説明しています。

長岡氏は、「安全対策は必要だが、本当に木を切る必要があるのか疑問」だと指摘。各樹木に貼り紙をして周知しているが、もっと事前に伐採樹木を知らせ、伐採理由に疑問がある市民が情報を取得できるようにする必要があると訴えました。

員会で、公園樹・街路樹の伐採問題をめぐり、多くの市民の「なぜそんなに木を伐採するのか」の疑問と、「木を守ってほしい」「緑を増やしてほしい」の思いに応える義務が市にあるといただきました。

大阪市は、街路樹が2018～24年で計1万2000本、公園樹は20～23年で7000

た。

維持管理の剪定(せんでい)作業には予算に制約があるとの答弁に対し、「丁寧な剪定には一定の費用が必要。市民の財産である樹木の維持にこそ予算を使うべき」と強調。「切らずに守るという選択肢がある木がたくさんある。伐採ありきではなく、長期的視野で大阪市に緑を増やす計画を」と強く要望しまし